

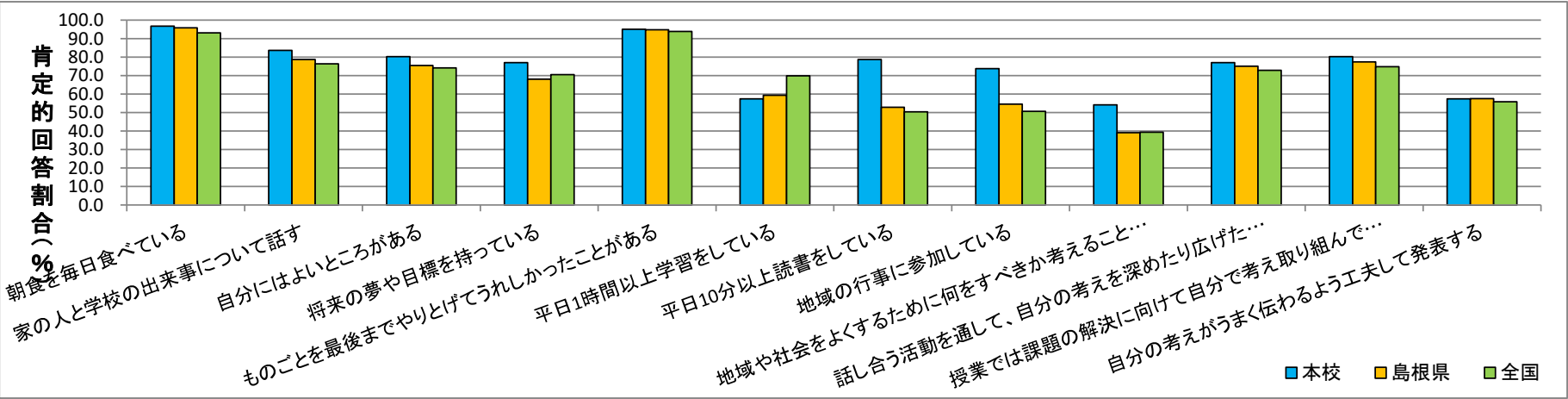
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
国語	○説明文の内容を正しく捉える力が身についている。 ○語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用がわかる。 ●あて名書きの書き方についての理解が不足している。 ●話し合いの流れを踏まえ、自分の考えを分かりやすく書く力に課題がある。	・あて名書きの書き方を理解し、他教科とも連携してあて名書きを書く機会を設ける。 ・授業の中で、話し合いの機会をもち、自分の考えを文章にまとめる機会を多く設けていく。
数学	○計算の仕方を理解し、ミスが少なくなってきた。 ○図形への興味関心が高く、証明にも抵抗感なく取り組むことができている。 ●関数に苦手意識があり、特にグラフから読み取る力に課題がある。 ●統計の用語の理解が不足している。	・関数の指導で、表を活用して、式やグラフで表す場面を多く設け、グラフからわかることを発表し合う機会を設ける。 ・統計、確率について、復習する機会を設け、基本的な用語等をきちんと覚えさせる。 ・どの単元においても、自分の考えを数学的な用語を使って伝え合う場面を多く設けていく。
英語	○正しい接続詞を選ぶなど、基本的な文法は理解できている。 ○短い英文を読んで、英文が表す絵や図、語句を選ぶ問題は正答率が高い。 ●長い英文の要旨や概要をつかむ力に課題がある。 ●英文を聞いた上で、それに対する意見を書く問題で無回答率が高かった。	・英文を読んだり聞いたりして、要旨や概要をつかむ練習を取り入れる。 ・英語で話したり書いたりすることで、状況を説明したり、自分の意見を伝えたりする場面を継続的にもち、その中で語順を意識させる。 ・「聞くこと」+「書くこと」など、2つ以上の技能を使わなければならないような問題に触れる機会を増やす。

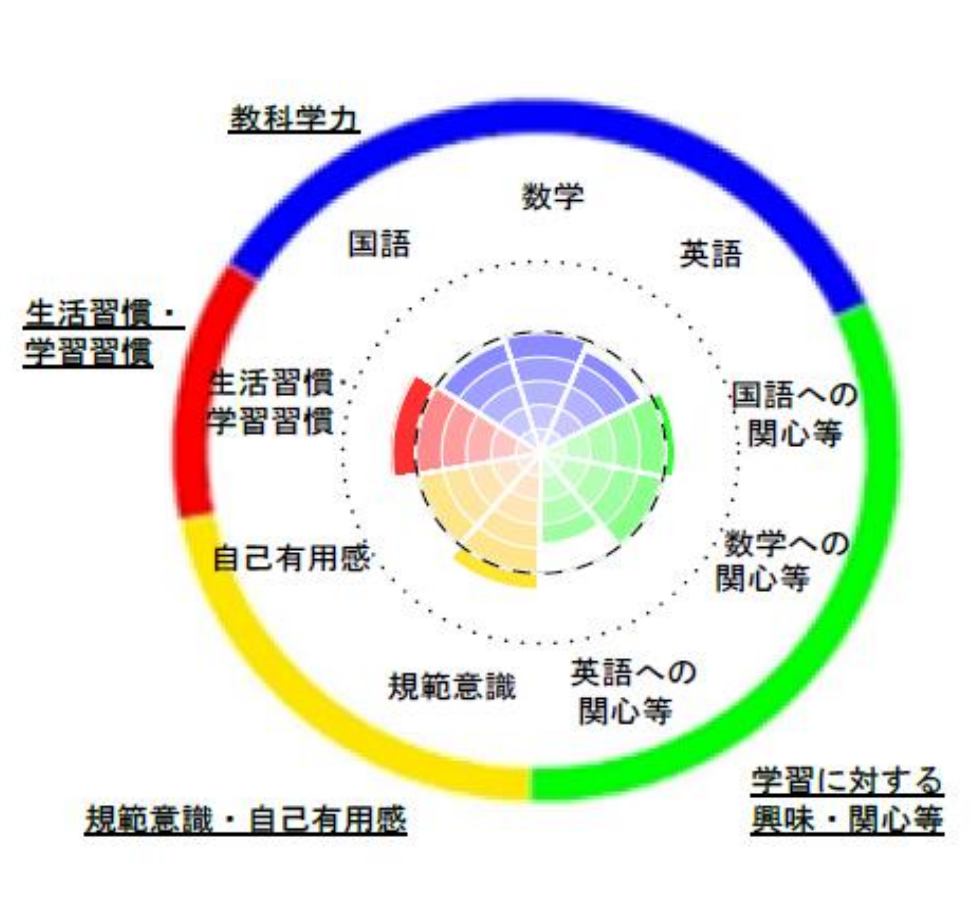
(2)生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
○全体的に肯定的な回答が多い。 ○地域や社会に関心をもち、地域の行事やボランティアに積極的に参加している。 ●家庭での学習時間が少ない。 ●自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表することに慣れていない。	・生活ノートの「生活点検カード」を使用し、家庭での過ごし方についてふり返り、3年生は教育相談で教員と部活引退後の生活リズムについて見直しをする。必要であれば、メディアコントロールについても面談等で家庭との連携を図る。 ・話し合い活動などの中で、相手のことを意識した伝え方を考えたり、考えが伝わったことをきちんと返したりする授業づくりを目指す。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・各教科において、ペア学習やグループ学習を実施している。主体的、対話的で深い学びを実現するよう、今後さらに効果的な活用を工夫していきたい。 ・進んで問題解決に向かう態度を育てるため、総合的な学習の時間の充実に取り組む。 ・家庭学習の時間を確保し、生活リズムを確立するため、保護者とも連携してメディアコントロールに力を入れる。
--

【参考】

	本 校	松江市	島根県	全国
国語	71	73	73	72.8
数学	59	60	57	59.8
英語	52	54	53	56.0

受検者数 61 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。